# 学校・保育所のあり方地域説明会と町政懇談会

# 意見・質疑応答の概要

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 日　時 | 令和６年７月 30 日（火）<br>18:30～20：00 | | 会　場 | 若畑公民館 |
| 参加者 | 11 名 | 町出席者 | 町長、副町長、教育長、<br>学務課長、石川代理、祐征主査、里子主任、<br>企画財政課長、刈田代理 | |

〇学校・保育所のあり方地域説明会

| 番号 | 質疑・意見 | 応　答 |
|---|---|---|
| 1 | （川舟　男性）<br>湯田の私立の保育園について、どこまでが私立でやっているのか。新しく作るとなると、私立では到底投資できる力が無いと思うが、町で作って私立に貸すような感じか。運営だけ私立か。 | （学務課長）<br>運営は社会福祉法人愛児会でやっていただいている。今は国からの交付金、県から町からの交付金をいただいて運営はしているが、私立保育園も人数が少なくなって、実質は経営も大変な状況にありますけれども、ただ湯田・沢内ともに同じ保育サービスを提供するということは、やらなければならない絶対条件ですので、経営に関して経費で不足するところは、現時点では町の方から補助金で出させていただいて、同じ保育サービスを提供させていただいているところ。 |
| 2 | （川舟　男性）<br>働く人の処遇面、公立と私立で差がありませんか。 | （学務課長）<br>そこは法人の考え方の部分もありますし、町の考え方もありますので、全く同じにするというのはなかなか難しいところだと思います。ただ、そんなに差があるとは思っていないです。 |
| 3 | （川舟　男性）<br>今回、（私立を）公立にするとい | （学務課長）<br>その部分については愛児会と町 |

| | | |
|---|---|---|
| | う検討は行われなかったんですか。 | とのこれからの引き続き協議になろうかと思っているところ。引き続き検討もしているところですが、その部分を詰めてからという話になると、この話はここで止まってしまうことになりますので、子どもたちのために保育サービスを提供していかなければならない部分ですので、湯田であろう、沢内であろう、同じ保育サービスを提供できる環境を私達が作ってあげなければいけないと思っているところです。 |
| 4 | （川舟　男性）<br>私立に公が口出しするというのは、公私混同じゃないですか。私立なら私立で運営させなければダメじゃないですか。何で公が私立に「このようにしよう」と提案できるんですか。 | （学務課長）<br>その部分は当然私達だけじゃなく、愛児会さんの方、そして湯田地区の保護者等も含めた形で検討委員会で協議をさせていただいているところでした。<br>一方的にこちらからこうする、という事ではない。 |
| 5 | （川舟　女性）<br>「魅力的な学校教育等により町を挙げて人口減少対策を」とありますが、これは親御さんの意思というか、どういうことが魅力的な学校教育と言われているか、そういった意思の疎通と言うか、町と親御さんとコミュニケーションというか情報のシェアはできているでしょうか。 | （学務課長）<br>ここにある「魅力的な学校教育等により町を挙げて人口減少対策を」の委員さんの思いとしては、町内の方々に「良い教育環境だよ」というだけじゃなく、町外の方々から見ても魅力的な教育だと思ってもらうことによって、例えばこちらに移住とか、そういった魅力ある教育づくりをしていって欲しいという視点でのご意見でした。 |
| 6 | （川舟　女性）<br>例えば魅力ある教育とは、というお話は出ませんでしたか。 | （学務課長）<br>委員さん方の方からは、やはり小さい学校だからできる、個々を大切にした教育という部分が大切だし大きな魅力になるというところと、英語教育、そういった部分に力を入れる事によって、もっとも |

| | | |
|---|---|---|
| | | っと良い教育環境を作れるんじゃないかなといった意見はいただいているところです。<br>　また、西和賀の体験的な部分も、どんどん経験を積ませるという部分の教育のやり方も魅力に感じてもらえるんじゃないかという意見もありました。 |
| 7 | （川舟　女性）<br>　子供の成長を楽しみしているのが親御さんですし、それをまとめるのが議会の人たちの責任だと思います。あとは町とのコミュニケーションもすごく大事だと思いますので、その辺りはズレの無いようにやっていただきたいなと思っています。 | （教育長）<br>　今後、保護者さん達とか学校関係者との意見交換会もありますし、８月４日には湯田庁舎にて子育てについて意見交換の会も予定しております。<br>　こうして欲しいとか、ああして欲しいとかいうのではなく、お互いに今苦労していることとか、良かったこととか、意見交流をしながら、徐々に固めていく必要があるなと思っています。<br>　今回は「このような例もあります」ということで出させていただいた。 |
| 8 | （川舟　女性）<br>　「学校のあり方に関するアンケート等を踏まえ」とありますが、アンケートは前にも取ったんですか、それともこれからになりますか。 | （学務課長）<br>　学校についてはこれからになります。<br>（教育長）<br>　子供たちの意見も聞きたいと思い、学校を回って、校長先生や職員の方々と相談しながらアンケートの形で取らせていただいた。<br>　小学校はイメージがすごく難しいという事で見送らせていただいた。アンケートをやるためにはもうちょっと時間が必要ということで。<br>　ただし中学校は中学生議会をやった経緯もありやってみましょうという事になりやってみた。 |

| | | |
|---|---|---|
| | | やった結果、中学生の意見としては統合かそれぞれでいくかという問いに、統合１に対して、それぞれでやりたいというのは２でした。<br>いろいろな意見がありました。例えば「沢内の伝統を残すためにも是非ここで頑張りたい」という声もあれば、「多様な意見交流をしたいので、統合した方がうれしい」とか、今後そういった意見も揉んでいく必要があると思いました。 |
| ９ | （長瀬野　女性）<br>人数が減っていくことは、本当に町民みんなが心配しているところ。教育の事に関しては、人数が減ってきたからということを前提に教育や教育施設を考えると、もう減らすしかない、無くすしかないのような方向にいってしまうので、教育長の話しにもあったような、どんな教育をしたら良いのだろうかということを中心に話をしていけると良いと思います。<br>アンケート調査ももちろん大事で、数字等データが出てきて参考にはなると思うが、とにかく今後対話を大事にして、保護者との意見交換会も予定されているという事ですし、対話することが大事だと思う。<br>保育所のアンケートの結果で「統合をした方が良いんじゃないか」という意見がほとんどだったということを先程データで示していただいたが、その後議会で懇談会を行った時には、統合はやむを得ないと思うけれども、保育サービスをもっと充実して欲しいと | （副町長）<br>ご意見として承っておきます。 |

| | | |
|---|---|---|
| | か、遠くなるので送迎等の支援を具体的に考えて欲しいとか、話し合っていく中で具体化していくことが大事だと思います。意見です。 | |

○町政懇談会

| 番号 | 質疑・意見 | 応　答 |
|---|---|---|
| 1 | （川舟　女性）<br>　子育て支援センターの構想というのは、すっかり消えちゃっているのか。考えていますか。 | （学務課　高橋主査）<br>　子育て支援センターについて、現在検討を進めております。<br>　子育て支援センター単体ではないですけれども、今の総合計画でも事業としてあるのですが、保健センターと合わせてという形で、子育て支援の拠点となる施設の整備を検討しております。<br>　事業として大きいものになるので、なかなかすぐにとはいかないが、検討は進んできておりますので、その点だけ報告させていただきます。 |
| 2 | （川舟　女性）<br>　昔は母子センターというのがあって、出産したあとに保健師さん達が回ってきて、どのくらい体重が増えたとか、様々お話ししてもらって、出産した者としてはすごく心強かったです。それも地域づくりになっていたんだなと思う。保健センターが検討されているというお話を聞けて良かったです。 | |
| 3 | （川舟　女性）<br>　保育園が統合された場合に、保育士さんの人数は変わらずの人数で行くのか。 | （学務課長）<br>　保育所を統合した場合、保育サービスの充実ということで、延長保育とかゼロ歳児保育とかの検討になっていくところですが、今後検討にはなりますが、統合することによって職員を集めることによって、そういったサービス充実が |

| | | |
|---|---|---|
| | | 図っていけることになっていくと思っています。 |
| 4 | （川舟　女性）<br>　職員数はそのままキープですか。 | （学務課長）<br>　年齢で退職される方とか今後でてきますので、今と全く同じ人数でというわけではなく、今いらっしゃる方々を集約する形で保育サービス充実の方に繋げていきたいという考えです。 |
| 5 | （川舟　女性）<br>　そうすると、引退された方の分をまたプラスで入れるとか、そういう事になりますか。 | （学務課長）<br>　そこは全体の保育サービスをどのくらいやるのか等の想定の中で人数が決まってくると思います。 |
| 6 | （川舟　女性）<br>　保育所の送迎をお母さんたちがやっていて、（統合すると）かなり遠くなるなと感じているが、その対策とかは検討されているか。 | （学務課長）<br>　統合することによって、送迎の支援やフォローといった部分は考えていかなければならないと思っています。<br>　保育所・小学校・中学校一体のエリアで整備になるとすれば、そういった部分のメリットが見えてくる部分もあると思います。送迎の部分の支援は考えていくことになると思っております。 |